

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 25 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		ひまわり公園管理運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連								
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	高木 敏明					
	施策	22	歴史・伝統・文化を活かした郷土愛の醸成			所属課	生涯学習課	担当者名	浦田 信智					
	基本事業	77	歴史・伝統・文化に触れる機会の提供			所属班	生涯学習班	(内線)	2421					
予算科目	会計	1	款	10	項	5	目	7	事業連番	10826	法令根拠	文化財保護法	成果優先度評価結果	5
													コスト削減優先度評価結果	2
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H6 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)								

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	①ひまわり公園の貸出 ②ひまわり公園の適正な維持管理 平成6年度の整備完了に伴い事業開始。郷土の歴史を学ぶと同時に、地域住民の憩い・活動の場を提供・管理することを目的として事業を始めた。 利用者においては変化は認められない。 公園内に建てられた堅穴住居は、経年による老朽化や台風被害により老朽化しつつあるため、数年に一度、大規模な修繕事業が必要となっている。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①ひまわり公園使用許可申請書の受理、利用登録、使用料の受理、使用の許可 ②ひまわり公園の芝管理、樹木選定の委託、業者選定、入札、契約、発注、検査、支払い
【主な予算費目】	需用費(光熱水費・修繕費)、役務費、委託料
【意見や要望】	復元された堅穴住居が老朽化している。数年に一回台風被害等災害に見舞われ修復を重ねているが、もっと根本的な修復が必要ではないかとの声もある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
ひまわり公園の利用管理および適正な維持管理	
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ ア 公園利用申請件数	件
イ 公園の手入れ回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
①市民 ②ひまわり公園	⇒ ア 市民 人
	⇒ イ ひまわり公園 m
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
①郷土の歴史を身近に感じ学ぶ機会を得ると共に、憩いの場として安全かつ快適に利用できる ②適正に維持管理される	⇒ ア 述べ利用人数 人
	⇒ イ 苦情対応件数 件
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度実績(決算)	20年度実績(決算)	21年度目標(当初予算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	23年度予定	24年度見込
④ 活動指標	ア 件	80	80	80		80	80		
	イ 回	8	8	8		8	8		
⑤ 対象指標	ア 人	54,000	54,000	54,000		54,000	54,000		
	イ m	6,615	6,615	6,615		6,615	6,615		
⑥ 成果指標	ア 人	10,451	12,000	12,000		12,000	12,000		
	イ 件	0	0	0		0	0		
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,570	1,770	1,907		1,539	1,539	
	(A) 事業費計	千円	1,570	1,770	1,907	0	1,539	1,539	
(A)のうち指定経費	千円								
(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2		2	2	
	延べ業務時間	時間	200	200	200		200	200	
	(B)人件費計	千円	794	800	796	0	796	796	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,364	2,570	2,703	0	2,335	2,335	

総トータルコスト	全体計画
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0
	0

事務事業名	ひまわり公園管理運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 周知の徹底によりらい来園者の増加を図り、郷土史学習の推進に努める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 維持管理について、他の施設等における同様の事業とあわせて発注することで経費の削減を目指すことが出来る。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 公園の占用については、利用料金を芝生広場半面を1時間100円で貸し出している。また市外居住者の利用料金は、市内のそれの2倍となっている。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

類似施設の維持管理を横断的に実施し、事業費を大きく削減していく必要があると思われる